

取扱説明書

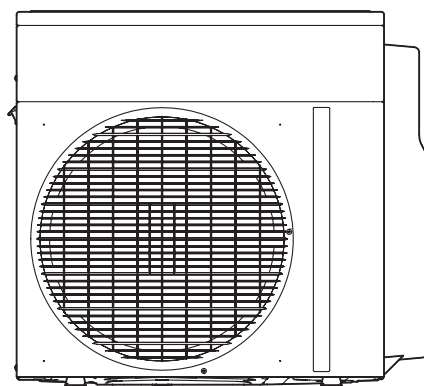
ヒートポンプユニット

家庭用

保証書付

BL認定品

ECO ONE



ご愛用の皆様へ

- このたびはリンナイ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書では、システムを構成する機器のうち、ヒートポンプユニットについて記載しております。お使いになる前に、この説明書とガス熱源機・リモコンの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- リモコンの使いかたについては、リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 設置工事説明書を必ず設置工事店（販売店）から受け取ってください。
- 取扱説明書はいつでも使用できるよう設置工事説明書とともに大切に保管し、使用方法が分からないときにお読みください。
- この製品は国内専用です。

Rinnai

お使いになる前に

機器の設置場所を確認する

- 1

機器の設置場所を確認する。

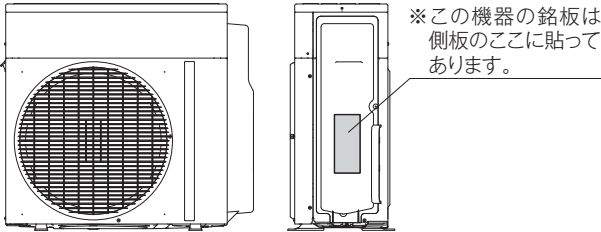
設置場所がわからないときは、機器の設置工事を行った施工店にご確認ください。

- 2

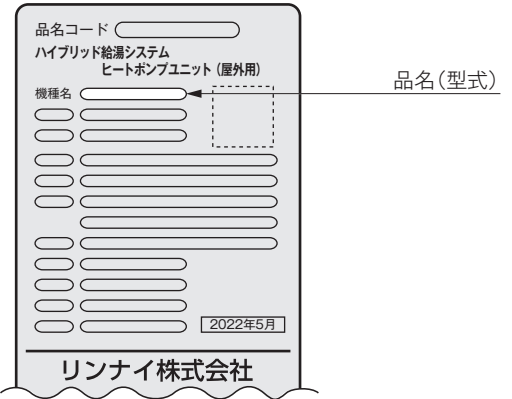
機器の品名を確認する。

品名は、機器の銘板に記載されています。

銘板の位置



品名の位置



品名を確認したら、以下の欄に記入してください。

品名	
----	--

もくじ

安全なご利用のために

安全上のご注意（使用編）.....	3	●
安全上のご注意（設置編）.....	6	■

お使いになる前の準備

各部のなまえとはたらき	10	●
カバー類の取りはずし・取り付け方法.....	11	■

知っておいてください

長期間使用しないとき	12	●
冬期の凍結による破損防止について.....	13	■
日常の点検・お手入れのしかた	15	●
故障かな？と思ったら	16	■
主な仕様・能力表	18	●
アフターサービスについて	20	■
保証書	裏表紙	

安全上のご注意 (必ずお守りください) (使用編)

- 製品を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽 傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

- 絵表示には次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい 「注意喚起」内容です。		火災注意						
	この絵表示は、してはいけない 「禁止」内容です。		火気禁止		触れないこと		分解禁止		ぬれ手禁止
	この絵表示は、必ず実行していただきたい 「強制」内容です。		電源プラグをコンセントから抜く						

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
---	--

異常時の処置

- 異常時（焦げ臭いなど）は、分電盤の配線用遮断器またはヒートポンプユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「OFF」・「切」にし、お買い上げの販売店または当社お客様センターに連絡する

※ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合は、ヒートポンプの漏電遮断器を「OFF」するかタンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く。

分電盤で「OFF」にすると同一回路のコンセントに接続されている機器の電源がOFFになります。

リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054-321

異常のまま使用すると、故障や感電・火災の原因になります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

電源ケーブル・プラグについて（電源の専用配線をしている場合を除く）



■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。



■分電盤の配線用遮断器またはヒートポンプユニットの漏電遮断器の操作をするとき、濡れた手で操作しない

感電の原因になります。



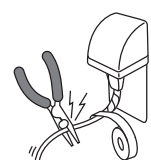
■雨が降り出している場合は電源プラグを抜かない

感電のおそれがあります。

■電源ケーブルを切断して延長はしない

電源ケーブルがコンセントに届く範囲としてください。

感電や火災などの原因になります。



■電源ケーブルを引っばって電源プラグを抜かない

電源ケーブルを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



■電源ケーブルを破損させたり、加工したり、傷んだままや束ねたまま使用しない

故障や感電・火災の原因になります。

■電源プラグは根元まで完全に差し込む （電源の専用配線をしている場合を除く）

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く （電源の専用配線をしている場合を除く）

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



■アースされていることを確認する

この機器はアースが必要です。

ご使用について



■可燃性ガスや引火物を近くに置かない

発火・火災になるおそれがあります。

■ヒートポンプユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

■ヒートポンプユニットのフィンや空気吹出口に棒や指を入れない

けがや機器故障の原因になります。

■熱いとき、ヒートポンプユニットの接続口や水抜き栓、配管にはさわらない

運転中および停止直後は熱くなっており、やけどのおそれがあります。

安全上のご注意 (使用編) (つづき)



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ご使用上の注意



■ヒートポンプユニットの周辺にぬれて困るものは置かない

ドレン水が出ます。

■アンモニアの発生源を置かない

アンモニアを発生させる物（ペットのトイレや堆肥など）は機器と同じ部屋に置かないでください。アンモニアが機器に悪影響を与え、故障の原因になります。

■冬期、凍結のおそれがある時は、分電盤の配線用遮断器またはヒートポンプユニットの漏電遮断器の電源レバーを「OFF」・「切」にしない

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

お子様には



■機器の周囲や直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。

廃棄時の注意



■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する

お客様ご自身で処理する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。



■積雪時には除雪をする

ヒートポンプユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

■長期間使用しないときは、機器の排水をする

排水をしないと水質が変化することがあります。

■ヒートポンプユニットの電源を切るときは、機器と配管内の水を確実に抜く

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

■ヒートポンプユニットの端子台カバー・配管カバーは閉じる

開けておくと雨水やごみが入り、漏電や感電することがあります。

お願い

機器周辺部の点検

- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は取り除いてください。性能低下や故障の原因となります。
- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。誤動作や故障の原因となります。
- テレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。テレビ・ラジオに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

停電時のご注意

- 停電すると使用できません。
- 冬期などに停電した場合は、凍結のおそれがあります。13ページの水抜き方法を参照し、機器の水抜きを行ってください。
- 停電時に、蓄電池でヒートポンプユニットを運転させるためには、停電検知ユニットが必要です。詳しくは、設置工事店に確認してください。

安全上のご注意 (設置編)

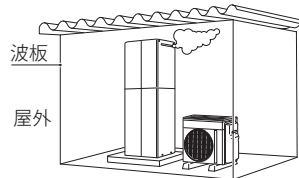


この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

屋内設置禁止



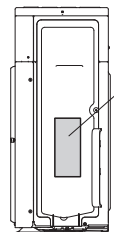
このシステムは屋外設置専用です。絶対に屋内（波板囲いを含む）には設置しないでください。ガス熱源機の不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。また、万が一ヒートポンプユニットの冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害など）に至るおそれがあります。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

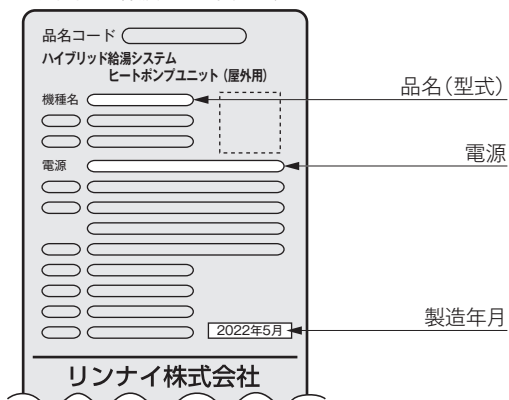
機器の銘板を確認

使用する機器が使用する電源（AC100V・50-60Hz 共用）に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外の電源を使用すると機器が故障する場合がありますので使用しないでください。



※この機器の銘板は側板のここに貼っています。

※下図は銘板の一例です。



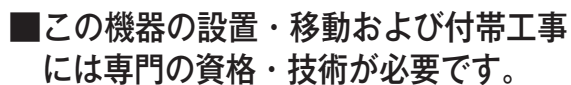
この機器はAC100V(50-60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

改造・分解禁止



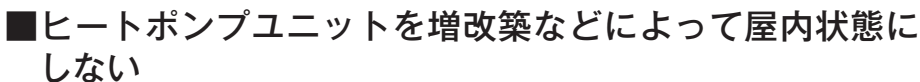
改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

工事は資格必要

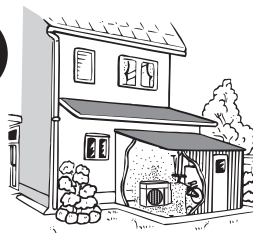


工事は必ずお買い上げの販売店または施工店に依頼してください。

設置場所



ヒートポンプユニットや、ヒートポンプユニットの空気吸込口や空気吹出口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。万が一ヒートポンプユニットの冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害など）に至るおそれがあります。



次ページもお読みください

安全なご利用のために

安全上のご注意 (設置編) (つづき)



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

施工確認



■ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する

万が一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害など）に至ることがあります。

■分電盤の配線用遮断器およびヒートポンプユニットの漏電遮断器の動作を確認する

故障のまま使用すると感電することがあります。

故障の場合はお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

アース工事



アースする

■アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店または施工店にお問い合わせください。なお、アース工事は本製品の価格には含まれていません。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■分電盤の配線用遮断器またはヒートポンプユニットの漏電遮断器の電源レバーを「OFF」・「切」にするときは、機器と配管内の水を確実に抜く

ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムで漏電遮断器を「OFF」するか、タンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く場合も水抜きしてください。

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

■端子台カバー・配管カバーは閉じる

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

■長期間使用しないときは、機器の排水をする

排水をしないと水質が変化することがあります。

■積雪時には除雪をする

ヒートポンプユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

■積雪地域に設置する場合は、ヒートポンプユニットを落雪から保護するため、防雪屋根を設置したり、軒下などに据え付けてください

降雪や除雪による雪が、空気吸込口、吹出口をふさいだり、入りこまないように架台（別売部品）の上に載せて防雪対策を行ってください。

火災予防について

- 機器を設置する場所の周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置してあることを確認してください。

設置場所（雰囲気）について

- 機器は豪雨などのときにも冠水することがなく、排水が十分にできることを確認してください。漏電や故障の原因となります。
- 機器は水平に設置してあることを確認してください。

保守・点検のためのスペース

- 機器の点検・修理ができるよう十分なスペースを確保してあることを確認してください。
（右側 300mm、上側 300mm 以上の確保）



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置場所

■機器の設置状態の確認

- 本システムの機器の設置にあたって次の項目をチェックし、満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。
 - ①機器は傾いて設置されていませんか？
 - ②メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
 - ③近隣の家が騒音（ヒートポンプユニットの運転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
 - ④ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口が降雪や除雪による雪・屋根などからの落雪で閉塞されることはありませんか？能力不足や機器の故障の原因となります。
 - ⑤キッチンの換気扇の近くに設置していませんか？
油分の付着や燃焼排ガスにより、性能低下や機器故障の原因になります。
 - ⑥小動物のすみかになるような場所には設置していませんか？
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、周辺をきれいに保つようにしてください。
 - ⑦据置台が傷んだ状態で使用していませんか？
落下、転倒し、けがをすることがあります。
 - ⑧ヒートポンプユニットの脚はアンカーボルトやブラ設置台に固定されていますか？
 - ⑨落雪・降雪・除雪による雪が、空気吸入口や吹出口をふさいだり、入りこまないように据え付けていますか？
- 植物やペットなど、ヒートポンプユニットからの冷風により悪影響を受けるものは、ヒートポンプユニットの周囲に置かないでください。
- このシステムで使用する水は、必ず水道法に定められた、飲料水の水質基準に適合した水とし、温泉水や地下水や井戸水では使用しないでください。また、水道水であっても塩分・石灰分やその他の不純物が含まれていたり、水質が酸性の地域では使用しないでください。機器の故障の原因となります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。
- この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は取り除いてください。性能低下や故障の原因となります。
- 床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認してください。処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。
- 機器は豪雨などのときにも冠水することがなく、排水が十分にできることを確認してください。漏電や故障の原因となります。
- ヒートポンプユニットは単相2線式AC100V（50-60Hz共用）です。所定電源以外を使用すると火災や故障、感電の原因となります。
- この機器は一般家庭用です。業務用途にはご使用にならないでください。
業務用途でご使用になると著しく寿命を縮める原因となります。

安全上のご注意 (設置編) (つづき)

お願い

■増改築する場合

- 塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。燃焼不良の発生を防止するためです。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。
(機器の点検修理のための空間については、お買い上げの販売店または施工店にお問い合わせください)

■機器の設置状態の確認

- 以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となります。
 - ・ 最低気温が-10℃ (タンクユニットが寒冷地仕様の場合は-15℃) 以下となる場所
 - ・ 屋内
 - ・ 階段・避難口などの付近で、避難の支障となる場所
 - ・ 塩害地 (塩害仕様は除く)
 - ・ 潮風が直接当たる場所 (塩害仕様でも傷むことがありますので避けてください)
 - ・ 冠水する場所や排水しにくい場所

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

- テレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。テレビ・ラジオに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

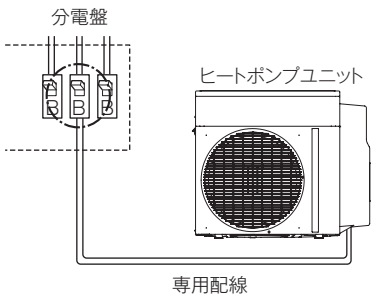
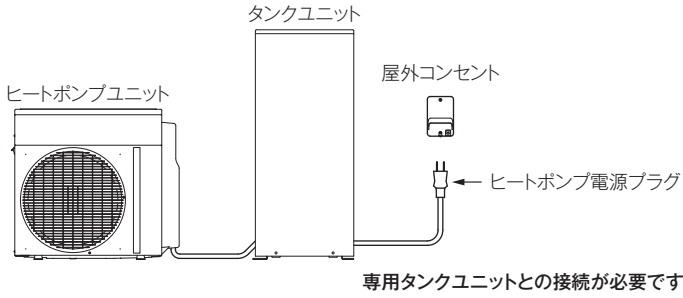
■日本国内向け

- 海外での設置および使用はしないでください。

■停電時のご注意

- 停電すると使用できません。
- 冬期などに停電した場合は、凍結のおそれがあります。13ページの水抜き方法を参照し、機器の水抜きを行ってください。
- 停電時に、蓄電池でヒートポンプユニットを運転させるためには、停電検知ユニットが必要です。詳しくは、設置工事店に確認してください。

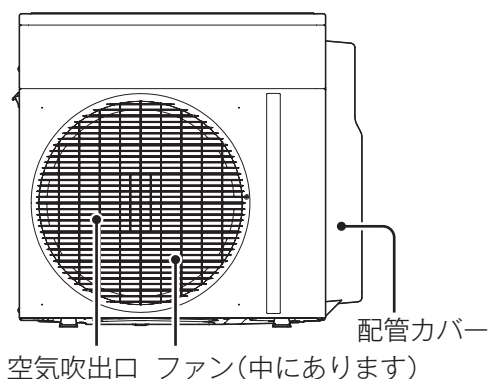
ヒートポンプの電源の取り方は2種類あります。

【ヒートポンプ専用電源のシステム】	【ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステム】
 分電盤 ヒートポンプユニット 専用配線	 タンクユニット ヒートポンプユニット 屋外コンセント ヒートポンプ電源プラグ 専用タンクユニットとの接続が必要です

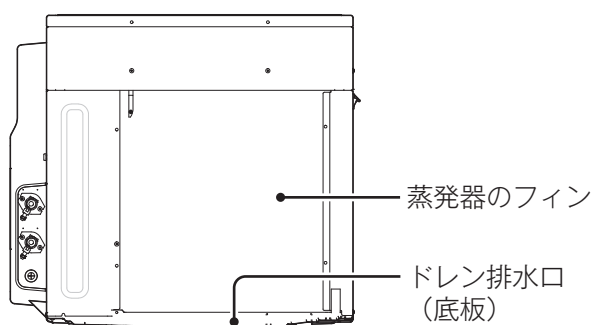
各部のなまえとはたらき

<RHP-R222シリーズ>

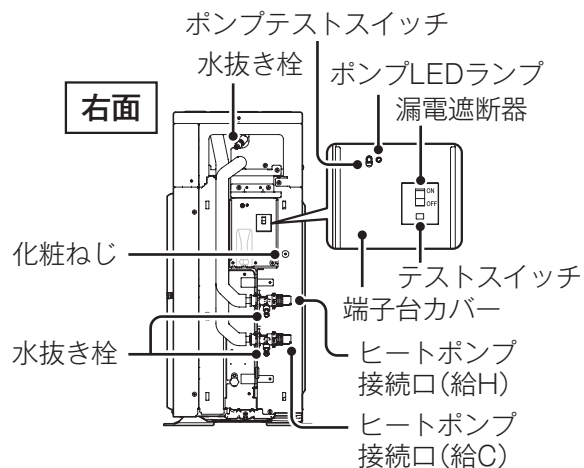
正面



背面

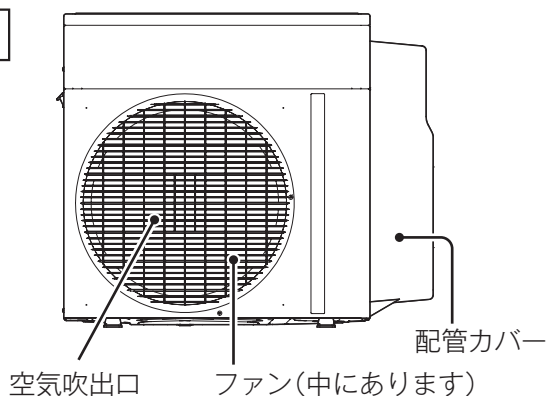


右面

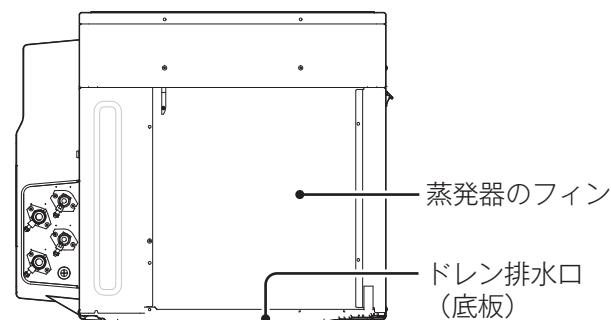


<RHP-R223シリーズ>

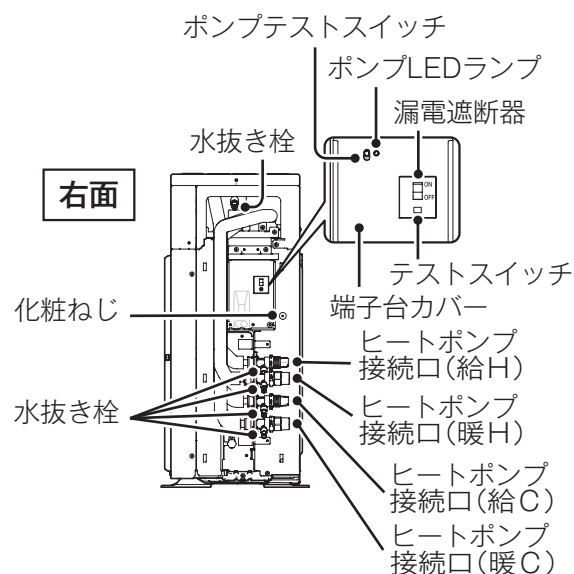
正面



背面



右面

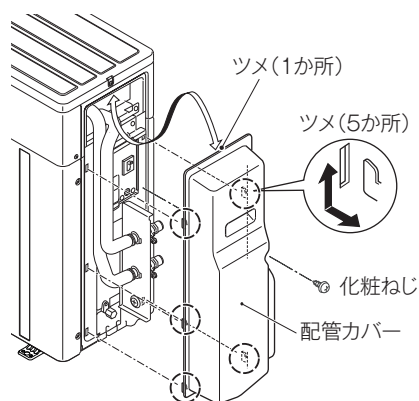


お知らせ

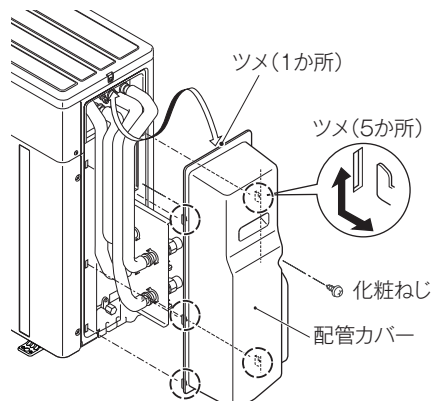
- ・ヒートポンプユニットは、給湯器のように出湯時に必ず運転するものではありません。
また、出湯していない状態でも貯湯や凍結予防などのヒートポンプ運転を行う場合があります。

カバー類の取りはずし・取り付け方法

<RHP-R222シリーズ>



<RHP-R223シリーズ>



取りはずし方法

- 1 化粧ねじ（1本）を取りはずしてください。
- 2 配管カバーを取りはずしてください。

取り付け方法

- 1 ヒートポンプユニットの穴にツメ（5か所）を差し込んでください。
- 2 化粧ねじ（1本）で、配管カバーを固定してください。

長期間使用しないとき

- 冬期に、数日間お使いにならないときは、各部の排水および水抜きを行ってください。また、凍結による不具合防止のため、システムの通電を行わないときは、水抜きを行ってください。（13 ページ参照）
- 長期間お使いにならないと、ヒートポンプユニット内の水は変質のおそれがありますので、必ずすべて排水してください。暖房回路に不凍液が入っている場合は、不凍液を抜く必要はありません。

⚠ 注意

- 長期間使用しないときは、ヒートポンプユニットの水を抜く。（水質変化の原因）
- 配管の凍結予防ヒータの電源は「切」にしない。（配管凍結・水漏れの原因）

※タンクユニットおよびガス熱源機の水抜きは、それぞれの機器の取扱説明書に従って行ってください。

⚠ 警告

- 排水時はやけどに注意する。

- ヒートポンプユニット水抜き完了後、しばらく放置して水が排出されたことを確認してからすべての水抜き栓・空気抜き栓を閉じる。

お願い

- ・配管の水は完全に抜けないので、配管の凍結予防ヒータは「切」にしないでください。

冬期の凍結による破損防止について

- 寒い季節になったら凍結予防処置が行われているか（凍結予防ヒータの電源を「入」にするなど）確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、外気温0℃以下では配管の滞留水が凍結し機器や配管が破損したりすることがあります。設置工事店に相談し適切な凍結予防策を施してください。凍結による故障は保証期間内でも有償修理となります。

お知らせ

ヒートポンプユニットの凍結予防運転

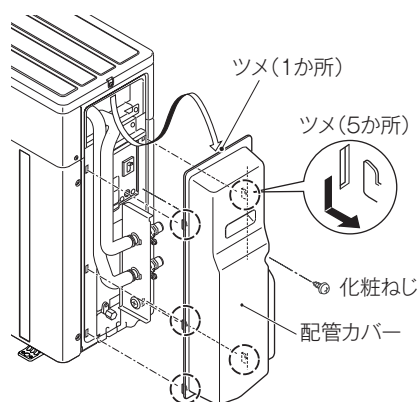
- ・タンクユニットの水抜きをしない場合、ヒートポンプユニットの電源は「ON」のままにしてください。
- ・外気温が下がると給水ポンプが運転し、ヒートポンプユニットとタンクユニットの凍結を防止しますが、さらに気温が下がると自動的にヒートポンプ運転を開始して凍結を防止します。

電源の切りかた

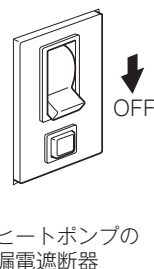
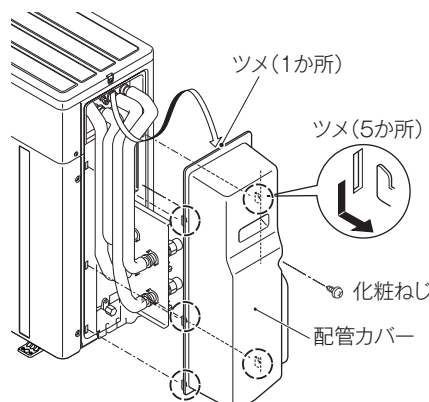
長期間使用しないときなどは、下記の方法で電源を切ったあと水抜きを行ってください。

- 分電盤の配線用遮断器で「切」（OFF）にする。
または、ヒートポンプユニットの配管カバーを取りはずして（化粧ねじ1本）、漏電遮断器を「OFF」にする。
- ※ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合は、ヒートポンプの漏電遮断器を「OFF」するかタンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く。
分電盤で「OFF」にすると、同一回路のコンセントに接続されている機器の電源がOFFになります。

<RHP-R222シリーズ>



<RHP-R223シリーズ>



- システム全体の電源を切る場合は、ガス熱源機（タンクユニット含む）の電源プラグも抜いてください。

⚠ 注意

- ハイブリッド給湯システムや凍結予防ヒータの電源を「切」にする場合は、システムの水抜きを行う。凍結すると配管などが破裂し、やけどや水漏れのおそれがあります。

水抜き

水抜きするときは、タンクユニット取扱説明書の説明に沿って作業してください。システムとしての説明が詳しく記載されています。

- ヒートポンプユニットの水抜き栓の位置は 10 ページを参照してください。

警告

- 漏電遮断器は濡れた手で操作しない。感電のおそれがあります。
- 水抜きするときは出てくるお湯でやけどをしないよう、十分に注意して行う。

- 水抜き終了後は、タンクユニット、ガス熱源機、ヒートポンプユニットのすべての水抜き栓・空気抜き栓・給湯栓・排水栓を閉め、逃し弁レバーなどを必ず元通りにしてください。
- ヒートポンプの配管カバー、タンクユニットの前板下などのカバー類を元通りに取り付けてください。

注意

- 配管カバーが確実に固定されていることを確認してください。
取付ねじがゆるんではずれていたりすると、思わぬ事故の原因になります。

再び使用するとき

再び使用するときは、タンクユニット取扱説明書の説明に沿って作業してください。システムとしての説明が記載されています。

- ヒートポンプユニットの水抜き栓の位置は 10 ページを参照してください。

日常の点検・お手入れのしかた

安心してお使いいただくため、半年に1回以上下記の点検を行ってください。

準備

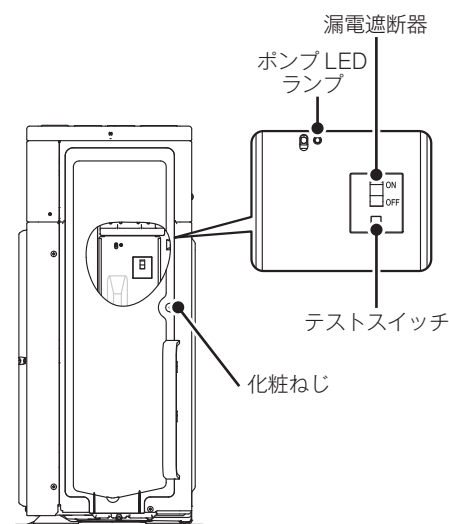
- 1 機器のカバーを取りはずしてください。
- 2 機器が冷めてから、点検・お手入れを行ってください。

配管の点検

- 機器および配管からの水漏れや保温材の破損などを点検してください。特に冬期に入る前には、保温材のチェックを行ってください。破損している場合、配管や機器が凍結し破損することがあります。
- 2 機器が冷めてから、点検・お手入れを行ってください。
- 機器や周辺配管から水漏れが生じた場合は、給水元栓を閉めて、機器の電源を切ってからお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

電源の点検

- 1 アース線が途中で切れていないことを確認してください。
- 2 ヒートポンプユニットの漏電遮断器のテストスイッチを押してください。
※ぬれた手で漏電遮断器をさわらないでください。感電のおそれがあります。
※リモコン表示画面に故障表示「308」が点滅する場合や「ヒートポンプの電源を確かめてください」という音声流れる場合がありますが、異常ではありません。
- 3 電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
 - ポンプLEDランプが点滅⇒消灯します。
 - ※レバーが勢いよく下がりますので注意してください。
 - ※「OFF」にならない場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- 4 電源プラグは根元まで完全に差し込まれていること、ほこりがたまっていないことを確認してください。(電源の専用配線をしている場合を除く)
 - 点検後は必ず電源レバーを「ON」に戻してください。



定期点検

本機は年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により、機能・性能を十分に発揮できなくなることがあります。長期間にわたり安全で快適にお使いいただくためには4～6年毎に定期点検整備（有料）を行ってください。定期点検整備については、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご相談ください。

使用条件・環境条件によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

※部品交換時は純正部品をご指定ください。部品交換は有料で交換します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。

修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

※お使いのリモコン取扱説明書、ガス熱源機取扱説明書に記載されている「故障かな？と思ったら」もご参照ください。

こんなときはここをお調べください

ヒートポンプユニットが運転・停止を繰り返す。

気温が低いときは熱交換器の除霜のためファンの運転・停止を繰り返します。

沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器（熱交換器）が霜で白くなる。

冬季運転中は霜が付くことがあります。霜が多くなると自動除霜運転をします。

このとき霜が水や湯気になって取り除かれます。

沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン排水口から水が出る。

ヒートポンプが外気から熱を吸収するとき、結露した水が出てきます。

寒いとき、ポンプ運転音がする。

凍結予防のためポンプが自動運転します。異常ではありません。

リモコンの運転スイッチを切ってもヒートポンプユニットが動く。

リモコンの運転スイッチを切ってもヒートポンプユニットは停止しません。

また、外気温度が低下すると、凍結予防のため自動運転します。

お湯から油が出る。お湯が臭い。

初めて使用するときは、配管工事のときの油分などがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

ヒートポンプユニットの架台が白く変色している。

架台の表面処理材料である溶融亜鉛めっきの特性であり、異常ではありません。変色しても耐久性に問題ありません。

ヒートポンプが運転しない

ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合、外気温度が約 5℃以下になるとヒートポンプの運転を行いません。

分電盤のブレーカが作動する

ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合、同一回路のコンセントに接続されている機器（洗濯機、シャワートイレ、ドライヤーなど）を使用するとブレーカが作動することがあります。

頻繁に発生する場合は当社お客様センターにご連絡ください。

● ■ 日常の点検・お手入れのしかた／故障かな？と思ったら

次ページもお読みください

知っておいてください 16

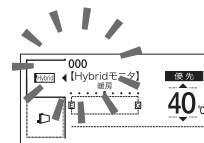
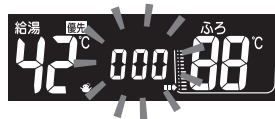
故障かな？と思ったら (つづき)

故障表示が点滅する

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に右図のような故障表示が点滅します。

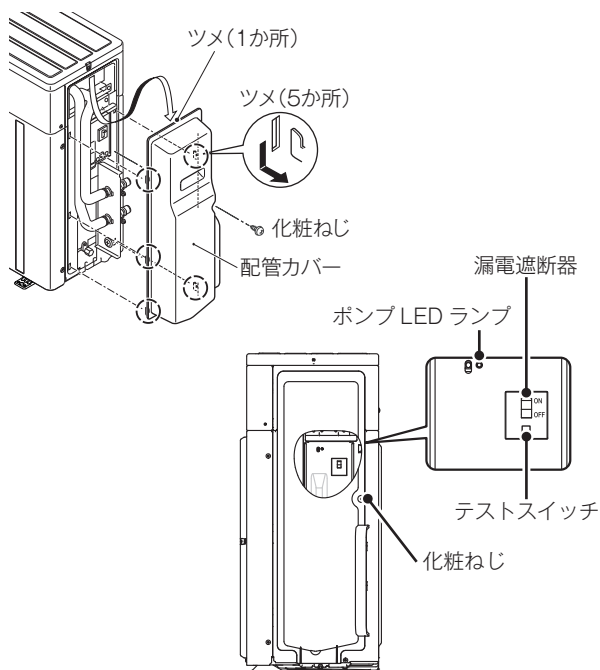
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

(BC-300VC(B)の例) (MC-301VC(B)の例)



「308」故障表示の場合

- 1 ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用遮断器が「切」(OFF)の場合、「入」(ON)にしてください。
- 2 ヒートポンプユニットの化粧ねじ(1本)を取りはずし、配管カバーを外してください。



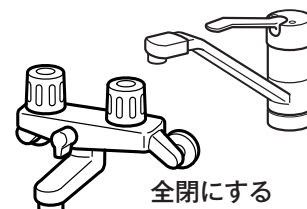
- 3 漏電遮断器のレバーがOFFの場合、ONにしてください。
- 4 ヒートポンプユニットの穴に配管カバーのツメ(5か所)を差し込み、配管カバーを取り付けてください。(化粧ねじ1本)
- 5 再び使用してみてください。

「308」故障表示以外の場合

- 1 ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。



- 2 すべての給湯栓を閉めてください。



- 3 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にしてください。



- 4 再び使用してみてください。

修理依頼

上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、20・21 ページを参照して、修理依頼をしてください。

主な仕様・能力表

項 目		仕 様	
品 名		RHP-R222(S)	RHP-R222(E)・RHP-R222(E)-E
シ ス テ ム の 呼 び 方		ハイブリッド給湯システム	
設 置 方 式		屋外設置型	
外 形 寸 法 (m m)		幅 755 × 奥行 297 × 高さ 690	
質 量		35kg	36kg
冷 媒		冷媒 R32 冷媒封入量 460g	
設 計 圧 力		4.17MPa	
電 源		単相 100V 50-60Hz	
最 大 電 流		15A※1	
消 費 電 力		待機時 1.0W、作動時最大 1200W※2	
沸 上 げ 温 度 範 囲		25 ～ 65℃	
沸き上がり温度 45℃のとき		中間期※3	夏期※4
	加熱能力(kW)	2.6	2.6
	消費電力 (W)	480	393
	運転電流 (A)	6.3	――
タンクユニットとの接続口径		15A (R1/2)	
安 全 装 置		漏電遮断器・過熱防止装置	
給 水 装 置 認 証 番 号		W052-20022-199	

注) 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
加熱能力試験の作動条件は、沸き上げ温度 45℃で、
※1 電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合 10A
※2 電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合はシステム全体で最大 900W
※3 中間期：外気温 (DB/WB) 16℃ /12℃、水温 17℃
※4 夏 期：外気温 (DB/WB) 25℃ /21℃、水温 24℃
※5 冬 期：外気温 (DB/WB) 7℃ /6℃、水温 9℃
となります。

故障かな？と思ったら／主な仕様・能力表

主な仕様・能力表(つづき)

項 目	仕 様			
品 名	RHP-R223(S)・RHP-R223(E)・RHP-R223(E)-E			
シ ス テ ム の 呼 び 方	ハイブリッド給湯・暖房システム			
設 置 方 式	屋外設置型			
外 形 寸 法 (mm)	幅 815 × 奥行 297 × 高さ 690			
質 量	40kg			
冷 媒	冷媒 R32 冷媒封入量 510g			
設 計 圧 力	4.17MPa			
電 源	単相 100V 50-60Hz			
最 大 電 流	15A			
消 費 電 力	待機時 1.0W、作動時最大 1450W			
沸 上 げ 温 度 範 囲	25 ～ 65℃			
沸き上がり温度 45℃のとき	中間期※ ₁	夏期※ ₂	冬期※ ₃	暖房※ ₄
加熱能力(kW)	2.6	2.6	2.5	2.2
消費電力(W)	480	393	510	536
運転電流(A)	6.3	——	——	——
タンクユニットとの接続口径	給湯 15A (R1/2) 暖房 20A (R3/4)			
安 全 装 置	漏電遮断器・過熱防止装置			
給 水 装 置 認 証 番 号	W052-20022-199			

注) 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

加熱能力試験の作動条件は、沸き上げ温度 45℃（暖房：出湯温度 40℃、入水温度 30℃）で、

※1 中間期：外気温 (DB/WB) 16℃ / 12℃、水温 17℃

※2 夏 期：外気温 (DB/WB) 25℃ / 21℃、水温 24℃

※3 冬 期：外気温 (DB/WB) 7℃ / 6℃、水温 9℃

※4 暖 房：外気温 (DB/WB) 7℃ / 6℃

となります。

アフターサービスについて

■修理を依頼される前に

- 16・17 ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえそれでも不具合のある場合、あるいはご不明の点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、次のことを行ってください。
 - 1 ガス栓、給水元栓を閉めてください。
 - 2 ガス熱源機の電源を切ってください。
 - 電源プラグを抜く、またはガス熱源機が接続されている分電盤の配線用遮断器を「切」(OFF) にします。
 - コンセントは機器付近の壁などにあります。
 - 3 ヒートポンプユニットの電源を切ってください。
 - ヒートポンプユニットが接続されている分電盤の配線用遮断器およびヒートポンプユニットの漏電遮断器のレバーを「切」(OFF) にします。
 - 4 お買い上げの販売店または当社お客様センターに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。
 - ※冬期の凍結のおそれがある時期の場合、配管凍結により故障が拡大する場合がありますので、速やかにお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
 - ※ヒートポンプユニットが故障しても、ガス熱源機の運転が正常であればお湯を使うことはできますが、お早めにお買い上げの販売店または当社お客様センターに修理を依頼してください。
- 修理をお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - ①製品名(ヒートポンプユニット)
 - ②品名(銘板表示のもの) (P.1 ページ)
 - ③故障または異常の内容(故障表示の数字など)
 - ④ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
 - ⑤訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、ガス熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスについて (つづき)

■保証について

- このハイブリッド給湯システムは、ヒートポンプユニットとタンクユニットおよびガス熱源機のそれぞれに保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。(詳細は保証書をご覧ください)
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理致します。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害(虫や小動物・雑草などの侵入など)による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。
- この機器はBL認定品ですので「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
※一部BL認定品でないシステムがありますので、詳細については、当社ハイブリッド給湯・暖房システムカタログをご覧ください。
- 一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は製品本体の製造打切後BL認定品は10年、その他の機器は7年です。BL認定品にはガス熱源機のフロントカバーに右の表示があります。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。



■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

■機器を廃棄する際には

- ヒートポンプユニットには冷媒としてHFC(代替フロン)が使用されています。ヒートポンプユニットを廃棄する際にはHFCの回収が必要ですので、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

■交換部品・別売品などのお求めは

- 当社のインターネット販売サイト Rinnai Style (リンナイスไตล์) では、交換部品や別売品・お手入れ品などを幅広く取り扱っております。交換部品はお客様自身でお取り替えできる部品が対象です。
なお、取扱説明書を紛失した際も下記サイトからお買い求めいただけます。

Rinnai Style

当社製品の交換部品・お手入れ品などをインターネット販売サイトよりご注文いただけます。

<https://www.rinnai-style.jp/>

MEMO

■
アフターサービスについて

ヒートポンプユニット 保証書

品名 RHP-R222(S)・RHP-R223(S)・RHP-R222(E)・RHP-R222(E)-E・RHP-R223(E)・RHP-R223(E)-E

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から BL 認定品は 2 年間（熱交換器と圧縮機は 3 年間）、その他の機器は 1 年間とし、ヒートポンプユニット本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054321
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
 - (ニ) 火災・凍結・水害・地震・落雷・ばい煙・降灰・酸性雨・異常気象その他の天災地変や公害・塩害・ほこり・腐食性の有害ガス・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形等、機器本体以外に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等によって生じる外観上の現象。
 - (ヘ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ト) 本書の提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
 - (リ) 指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
 - (ヌ) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことに起因する不具合。
 - (ル) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調節の場合。
 - (ヲ) 水道管の錆びなど、異物の流入による故障および損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは 20・21 ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	取扱者印
	ご住所		住所	
	お買い上げ日		年 月 日	

修理記録

この機器の修理記録は、機器内に収納の故障診断シートに記録します。

お客様へ

この保証書をお受取りになるときに お買い上げ日、販売店名、取扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052-361-8211

故障・修理・製品についてのお問い合わせ

■インターネットの場合

修理のお申し込み

お問い合わせ・サポート



■お電話の場合（お客様センター）

修理の受付：365日 24時間

お問い合わせ：平日 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
※年末年始は除く

フリーダイヤル ☎ 0120-054321

携帯電話からは下記におかけください。（通話料が発生します。）

ナビダイヤル ☎ 0570-550258

保守点検・所有者登録についてのお問い合わせ

保守点検コールセンター ☎ 0120-493110

受付時間 平日 9:00～18:00
※土日祝など当社指定休日を除く



3V015332-4G